

福山市立大学 地域と大学 第20回

うららかな春。木々の鮮やかな緑、そこかしこで咲く花の香りなど、いのちの芽吹きを五感で楽しむことができる気持ちの良い季節ですね。こんなにちは。「うららかな」ということばを使ってみてみたかった、学務課入試担当の石山です。春と聞いてなんとなく、ウキウキした気分になるのは私だけではないはず。そんな春にピッタリの「福香るばらうどん」、みなさんもうご賞味いただけましたでしょうか？幸せな香りが広がり、「ウキウキ」が「増し増し」になること、間違いなしです。

株式会社コパックス様との「お手福」に続く産学連携商品第2弾として、ばらの香りを練りこんだうどんの商品化に携わることになった本学の学生メン



バーたち。2025年1月、ヒントを求めてうどんを開発・製造して下さる石丸製麺株式会社様を訪問させていただきました。

工場での製造過程の見学に始まり、本場讃岐うどんの歴史を学んだり、ばらの風味の強さが異なるうどんを食べ比べたり。石丸製麺の企画開発担当の方々とも意見を交わしながら、それぞれにばらうどんのイメージを膨らませていきます。「噛んだときに広がるばらの香りから、福山の景色を思い浮かべてくれたらいいな」…そんな素敵な意見をくれた学生もいました！

さてさて、こうして完成した「福香るばらうどん」。どんな商品に仕上がったのでしょうか？続けてカクから紹介いたします！

●「福香るばらうどん」

いよいよ第20回世界バラ会議福山大会が始まりますね！地域連携担当のカクです。

早速ですが、ついに完成！ばらうどん！この商品は、大学、コパックス様、石丸製麺様の3者コラボで誕生しました。きっかけは、昨年コパックス様と連携して作ったばらの香りがする紙おしぼり「お手福」。このお手福を石丸製麺様にご紹介したところ、今回のコラボが実現したのです。

商品名にもある「福香る」は、うどんに練りこまれたばらのほのかな香りを連想させるとともに、福山と香川を掛け合わせたものです。県外企業との初めての連携でドキドキワクワクでし



たが、コパックス様の推進力、石丸製麺様のうどんにかける情熱が掛け合わせ、とても良い商品ができました。ちなみに、大学でも学生食堂で販売したところ、連日完売の盛況ぶりでした！市内のスーパーなどで限定販売されていますので、興味のある方はお早めに購入ください。

「ばらうどん」開発参加学生…大島ゆずか、河相杏佳、香西花夏、坂元優花、佐々木幹基、辻田詩央、富田夏海、増田凌、松井鳴己（9名とも都市経営学部4年）

FUKUYAMA CITY UNIVERSITY 福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

2027年4月、新たに「情報工学部（仮称・設置構想中）」を開設予定。

【問い合わせ先】

福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp



研究シーズ集